

高意匠性サイディングボード用保護クリヤー塗装

シリビア UV カットシリコンクリヤー

あなたの暮らしに、もっと新しい輝きを。その答えは、

# シリコンクリヤー



# UVカット



日本特殊塗料株式会社

あなたの肌をケアするように、  
お家もきちんと保護してあげたい。

新築の頃の輝きを取り戻してあげたい。

私たちの答えは、

## シリコンクリヤー×UVカット。

UVによる色あせやダメージから外壁を守り、  
高級な多彩模様を塗りつぶすことなく  
新築時のような光沢を与えます。

いつまでもキレイが輝く。  
住まいにも、あなたにも。



# シルビアUVカットシリコンクリヤーが選ばれる理由。

新築戸建ての主流を占める多彩模様のデザインサイディング。

従来の外壁塗装では、模様を塗りつぶしてしまい

せっかくの高意匠性を損なってしまいます。

張り替えではコストが高く、工期も伸びてしまいます。

既存のデザインをいかしたまま、

きれいにしかも長持ちさせたい。

そんなご要望にお応えするのが、

このシルビアUVカットシリコンクリヤーです。

クリヤー塗膜だから  
サイディングの  
模様をいかしたまま、  
新築時の光沢を復元

藻やカビの発生を  
抑制

高耐久性シリコンに  
航空機塗料で培われた  
UVカット技術を転用し  
優れた耐候性を実現

緻密な表面構造が  
大気中の微粒子を  
寄せ付けず、  
長期にわたり  
美しい外観をキープ

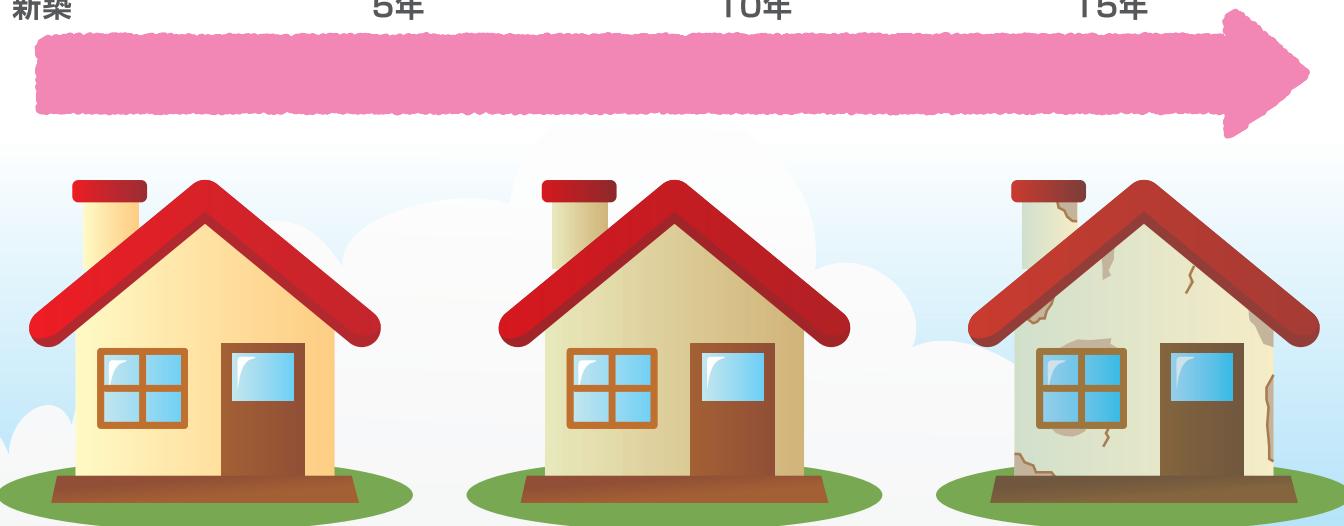


メンテナンスを長期間怠り汚れや退色が酷くなると  
**劣化の跡が出てしまう、**  
場合によっては**張り替えが必要**など、  
コスト面でも大きく差がでてきます。

つまり

**築10年以内でのメンテナンスが、  
美観を守り長持ちさせるポイント！**

新築 5年 10年 15年



ここが塗り替え  
ポイント!!



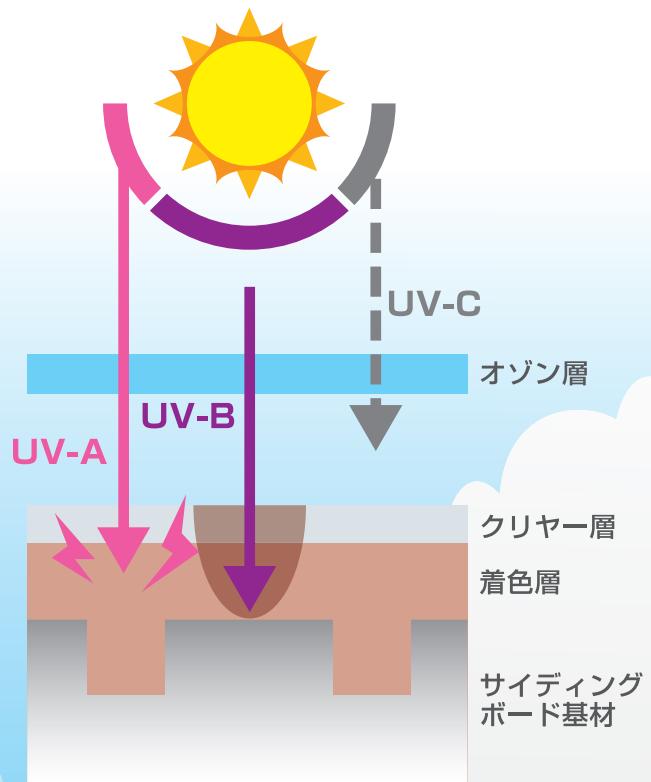


UVや雨水、粉塵などの汚れにより塗膜層にダメージ。光沢がなくなり、汚れも目立ち美観が悪くなります

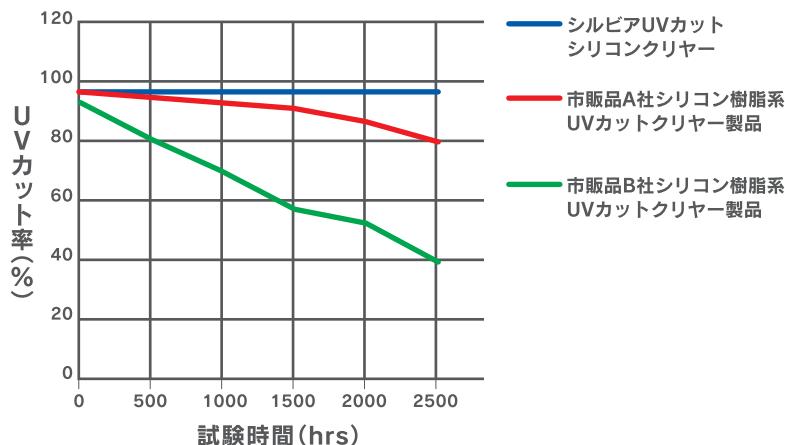
## 悪影響を与える UVをカット

UVが皮膚に悪影響を及ぼすのと同様に、高意匠性サイディングボードの塗膜を破壊します。

一般的なクリヤー塗膜はUVが通過するため、UVカットの効果が重要です。



## 市販品とのUVカット率比較試験



市販品と比較し、施工直後のUVカット率に差はありませんが、長い月日により歴然とした差が発生します。透明な塗膜でUVカットを行なう高度な技術を採用しています。

## シルビアUVカットシリコンクリヤーのUVカット効果

シルビアUVカットシリコンクリヤーは優れたUVカット効果を発揮します。

測定:UVメーター(2016年2月4日 10:00測定)



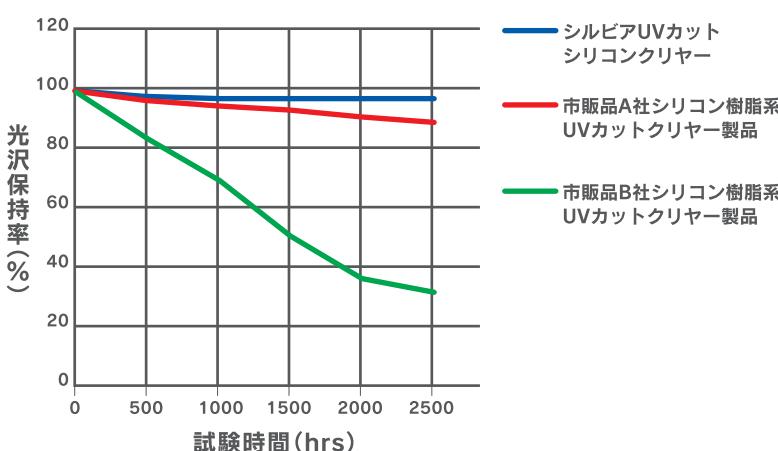
シルビアUVカットシリコンクリヤーを塗装した単板ガラス  
0.009mw/cm<sup>2</sup>



未塗装の単板ガラス  
1.100mw/cm<sup>2</sup>

シルビアUVカットシリコンクリヤーを塗装した単板ガラス(厚さ5mm)と未塗装の単板ガラス(厚さ5mm)をUVメーターでUV強度を測定しました。シルビアUVカットシリコンクリヤーを塗膜した単板ガラスは数値が小さく、塗装がUVを大幅にカットしていることが確認できます。

## 市販品との光沢保持率試験



美しい光沢は高級感の証拠。シルビアUVカットシリコンクリヤーは、建物の中で最も過酷な環境で使われる屋根用塗料の技術を転用し、長期間の美しい光沢を実現しました。





航空機用の特殊塗料を研究し80年超の実績。私たちの技術は、極限状態にある機体を守り、美しい姿を保持するために、化学や熱学・光学などの幅広い分野で研究開発を進めています。世界の空へ、さらに宇宙空間に旅立つ技術をお届け致します

## 適用

### 高意匠性(多彩模様)サイディングボードの改修

- ※1 光触媒や親水性タイプの表面コーティング、無機系コーティング、ふつ素樹脂クリヤーが塗装されているサイディングには適用できません。
- ※2 金属サイディングには適用できません

## 荷姿

### シリビアUVカットシリコンクリヤー ※(艶あり)

- 16kgセット**(A液: 14kg B液: 2kg)  
**4kgセット**(A液: 3.5kg B液: 0.5kg)

### シリビアUVカットシリコンクリヤー3分艶

- 16kgセット**(A液: 14kg B液: 2kg)  
**4kgセット**(A液: 3.5kg B液: 0.5kg)

### ●艶あり仕上げ/シリビアUVカットシリコンクリヤー(2液弱溶剤シリコン樹脂塗料)

工程	材料の調合(重量比)	施工方法	可使時間(23°C)	使用量(kg/m²/回)	1回当たりの塗り面積	施工間隔(23°C)
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>●表面のごみ、ほこり、コケ、チョーキングなどは、高圧水洗機や水拭きなどでムラなく均一に洗浄してください。</li> <li>●下地補修工事が必要な場合は、塗装工事前にななってください。特にエポキシ樹脂系注入材を用いる場合は、注入材の汚れが変色の要因となるため、溶剤などを用い完全に除去してください。</li> <li>●エフロレッセンスは、ワイヤーブラシ、スクレーパーなどで削り落とし除去を行なってください。</li> <li>●洗浄後は、晴天下で充分に乾燥させてください。【夏季:1日以上、冬季3日以上(目安)】</li> </ul>					
下塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●シリビアUVカットシリコンクリヤー A液 14kg</li> <li>● " " B液 2kg</li> <li>●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) 0~0.5kg</li> <li>●塗料用シンナーA(スプレー) 0~1.0kg</li> </ul>	ローラー 刷毛 スプレー	6時間以内	0.11~0.13	123~145 m²/セット	2時間以上 72時間以内
上塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●シリビアUVカットシリコンクリヤー A液 14kg</li> <li>● " " B液 2kg</li> <li>●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) 0~0.5kg</li> <li>●塗料用シンナーA(スプレー) 0~1.0kg</li> </ul>	ローラー 刷毛 スプレー	6時間以内	0.11~0.13	123~145 m²/セット	養生時間 24時間以上

### ●3分艶あり仕上げ/シリビアUVカットシリコンクリヤー(2液弱溶剤シリコン樹脂塗料)

工程	材料の調合(重量比)	施工方法	可使時間(23°C)	使用量(kg/m²/回)	1回当たりの塗り面積	施工間隔(23°C)
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>●表面のごみ、ほこり、コケ、チョーキングなどは、高圧水洗機や水拭きなどでムラなく均一に洗浄してください。</li> <li>●下地補修工事が必要な場合は、塗装工事前にななってください。特にエポキシ樹脂系注入材を用いる場合は、注入材の汚れが変色の要因となるため、溶剤などを用い完全に除去してください。</li> <li>●エフロレッセンスは、ワイヤーブラシ、スクレーパーなどで削り落とし除去を行なってください。</li> <li>●洗浄後は、晴天下で充分に乾燥させてください。【夏季:1日以上、冬季3日以上(目安)】</li> </ul>					
下塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●シリビアUVカットシリコンクリヤー A液 14kg</li> <li>● " " B液 2kg</li> <li>●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) 0~0.5kg</li> <li>●塗料用シンナーA(スプレー) 0~1.0kg</li> </ul> <p>※下塗りには、必ず艶ありを使用してください。</p>	ローラー 刷毛 スプレー	6時間以内	0.11~0.13	123~145 m²/セット	2時間以上 72時間以内
上塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●シリビアUVカットシリコンクリヤー3分艶 A液 14kg</li> <li>● " " B液 2kg</li> <li>●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) 0~0.5kg</li> <li>●塗料用シンナーA(スプレー) 0~1.0kg</li> </ul>	ローラー 刷毛 スプレー	6時間以内	0.11~0.13	123~145 m²/セット	養生時間 24時間以上



## 「シリビアUVカットシリコンクリヤー」の施工上の注意事項

- 気温5°C以下、湿度85%以上での施工は原則的に避けてください。施工が要求される場合は、採暖のための養生を行ない、旁囲気温度、被塗面温度を5°C以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と充分な打ち合わせを行なってください。
- 塗装間隔（乾燥時間）は塗装環境の温度、湿度、風通し、素材の状態などにより多少なります。
- 塗装場所の気温が5°C未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が充分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行なってください。
- 洗浄はムラなく均一に行なってください。極端にきれいな部分などがあれば、仕上げ後のムラに繋がりますので、ご注意ください。
- 高圧水洗機や水拭きを行なったのち、水滴跡が残らないよう乾拭き行なってください。水滴跡もそのまま反映されます。
- 水洗後晴天下で必ず1日以上乾燥させてください。乾燥が不充分な場合、クリヤー仕上げのため残った水分の影響による外観上の不具合が目立ちやすくなるおそれがあります。
- 上塗材はムラなく均一に塗付してください。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合（高湿度、結露、降雨など）、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- 塗膜の剥離は、はく離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- 最終養生の時間内に降雨、結露などがある場合は、塗膜のブクシ、はく離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
- 3分艶を使用する際、吸い込みが著しい場合には、乾燥後に吸い込みによる目地部の白化（艶消し前のままで）を生じることがありますので、1回目の塗装時、表面に塗膜が残らないような場合は艶ありを増し塗り、もしも2コートして吸い込みを防ぐために上塗りを塗装してください。下塗りには必ず艶ありを使用してください。3分艶を下塗りに用いますと前述の目地部白化が生じやすくなります。
- 3分艶では、刷毛、ローラー塗装ではムラが出来やすくなりますので、スプレー塗装を推奨いたします。
- 3分艶では、塗り継ぎや補修で艶ムラが出やすいので、面を切って適して塗装してください。
- シーリング材の上にシリビアUVカットシリコンクリヤーを直接塗装した場合、塗膜の密着不良やひび割れの原因となることがあります。試し塗りを行なった後仕様を決めてください。
- シーリング面は、マスキングテープなどで養生を行ない、塗装を避けてください。シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがあります。
- シリング材可塑剤ブリート防止プライマーは施工しないでください。塗膜黄変の原因となります。
- 被塗面の洗浄やエプロレッセーションの際去に酸性洗浄剤アルカリ性洗浄剤などの薬剤を用いる場合、薬剤洗浄前に被塗面に充分に水を含ませてください。薬剤洗浄後の水洗工程は、高圧水洗機もしくはブラシなどを用いて入念に行なってください。薬剤が壁面に残存したまま本品を塗装しますと塗膜の縮み、白化、はく離を起こすおそれがあります。
- 吸引込みやすい基材では吸引込みが多くなります。
- コーナーエッジやジョイント部で塗膜がはがれている場合は、シリビアNADウレタンなどで補修した後にクリヤーを塗装してください。
- 釘頭が出ている場合はエボラ#1プライマーN+シリビアNADウレタンなどを施した後クリヤーをかけてください。さび止め塗装した上にクリヤーを絶対にかけないでください。
- シリビアUVカットシリコンクリヤーは、下地の状態がそのままで反映されますが、高圧水洗機、水拭きにより除去できないエプロレッセーション、ショーケージ部分、ゴミ、ほこり、泥、油分などの汚れがある場合は、施工を避けください。
- 防藻・防カビ処理剤を使用すると黄変することがありますので使用しないでください。
- 既存塗膜に発生した藻・カビは、洗浄などで必ず除去し、清潔な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- エボキシ系注入剤やその他のエボキシ系補修剤などで補修した箇所は、はみ出した材料を除去してください。変色の原因となります。
- 素地の種類によって塗膜が不良となる事があります、あらかじめ適切な処理を行い、試し塗りを行なった後仕様を決めてください。
- 光触媒や強い撥水性処理または親水性処理、無機系塗料が施されたサイディングボードには適用できません。ご注意ください。
- サイディングボードの種類が不明な場合は、試し塗りを行なった後仕様を決めてください。
- 経年劣化したサイディングボード面への塗装は、表層部分が剥離かはく離するおそれがあります。試験施工を行なって付着性を確認してください。
- 補修塗りの際、仕上がりの肌の違いにより、若干の色差が生じる場合がありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈量などを決定してください。
- 塗装後は濡れ肌になりますので、施工前と比較して、全体的に見かけで色が濃くなる仕上がりになりますのでご了承ください。特に劣化が著しい場合は色調の復元にばらつきがあります。不安な場合は試験施工を実施して仕上がりをご確認ください。
- クリヤー仕上げは下地の形状、地の状況のままに仕上げてしまふため、下地の劣化が著しい場合はおすすめできません。クラックなどの発生がなく、かつ築後10年以内であることを目安にしてください。
- 3分艶は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際の艶と若干違つて見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
- 大面积の塗装や汚染、場所により補修塗りが必要な場合は、補修の際希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- シリビアUVカットシリコンクリヤーは、A液とB液を指定の比率で混合し、電動攪拌機などで充分に攪拌混合してご使用ください。A液とB液の混合比率が不適切であったり、他の材料と混合したり、B液を投入しなかった場合は、仕上がりや作業性が低下や低汚染性能が発揮されませんので、必ず貯蔵してください。
- 材料調合後は、可使用時間内（6時間以内、23°C）に使い切るようにしてください。なお、塗料の温度は保管場所により大きく影響を受けていますのでご注意ください。
- 使用量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈量などの各種条件により、増減します。
- 各工程の塗装間隔や使用量、希釈量を守らなかった場合塗膜の不良となる事があります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は充分な性能が得られないことがあります。
- 塗り重ね時間は環境（温度、湿度、換気、風通しやすさ）や膜厚によって変わります。低温または高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- 使用量は標準的な塗装を行なう際のもので、塗装時のひん度は考慮しておりません。天候、天候状態、膜厚、素地の状態や塗装器具の種類、形状などにより多少異なります。
- 過剰希釈をすると本来の効果を発現しないおそれがありますので、規定の希釈量を守ってください。
- 3分艶は常に希釈量を守らなければなりません。
- 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎたりなどは駆け引けや少し、かぶり不良などを作ります原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈量をもってください。
- 薄めすぎは仕上がり不良など起こるため規定期間を超過して希釈しないでください。
- ローラー、刷毛などは、ほのりの塗装での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、充分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。特に3分艶では、艶消し剤が沈降している場合がありますので、攪拌機を用いて缶底の沈降物を充分に攪拌してご使用ください。
- 塗料は、湿気と反応する成分が含まれています。貯蔵の際は密栓し、冷暗所に保存してください。また開栓後はできるだけ早めにご使用ください。水、アルコール系溶剤（例として、エボキシンシンナーやラッカーシンナーなど）の混入は絶対に避けてください。
- 施工部位により、低汚染性が充分に発揮されないケースがあります。特に傾斜部の下端部、笠木など、水切りのない部位、窓廻りで水切りが不充分な場合、雨がかかる部位は、注意が必要です。
- 低汚染機能を発揮するためには、使用量の確保が重要な事項です。特に凹部に塗り残しができないよう、注意してください。また、タッチャップに使用する上塗り材のA液とB液は予め攪拌し、沈降分離していないものを必ず計量器で計量し、電動ミキサーなどで充分に攪拌（2分以上）したものを使用し、可使用時間以内に使い切るようしてください。
- 上塗り材は、所定の乾燥時間（最終養生時間）を厳守してください。施工後、塗膜が乾燥するまでの時間内に降雨などにより、塗膜表面に長時間水分がかかる状態となりますと、白化や所定の低汚染機能が発揮されない場合があります。
- 低汚染機能は乾燥後の塗膜で発揮されるため、乾燥過程で降雨が予想される場合は、シート養生を行なうなどして、塗膜表面に雨が当たらないよう、所定の乾燥時間を厳守してください。
- 低汚染性については、被塗物の種類や塗装仕上げの形状、建物の形状や部位、施工後塗膜が充分に乾燥する前、および乾燥して初期の段階で天候不良など、環境条件の影響でその効果が充分に発揮されない場合があります。
- 鉛さび・シリング材などが原因の汚染物質に対しては、低汚染機能が充分に発揮されません。
- 目地部が深く、ローラーなどで入りきらない場合は、目地刷毛などで塗装してください。
- 目地部の塗料たまりや被塗面にダラ生じた際は、目地刷毛、ローラーなどでムラ切りし、除去してください。
- 硬化が不充分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- 3分艶仕上げの場所、下塗りはシリビアUVカットシリコンクリヤーの艶ありを使用してください。
- 可塑剤が多く含まれる建材への施工（塗ビ鋼板、ラッピングシート、クロスなど）は避けください。可塑剤が表面に移行し、塗膜にべたつきが発生します。
- 可塑剤が多く含まれる塗ビ鋼板、ラッピングシート、クロスなどは避けください。これらの部材に塗膜が直接触れることがないよう注意ください。
- ゴムやプラスチックなど、可塑剤を含む部位に直接触れると軟化や剥離を生じることがありますので、そのような場所への塗装は避けください。
- 可塑剤が多く含まれる建材への施工（塗ビ鋼板、ラッピングシート、クロスなど）は避けください。可塑剤が表面に移行し、塗膜のべたつきが発生します。
- 可塑剤が多く含まれる塗ビ鋼板、ラッピングシート、ゴムやプラスチック、合成皮革、塗ビクロスなどへの直接塗装は避けください。これらの部材に塗膜が直接触れることがないよう注意ください。
- ゴムやプラスチックなど、可塑剤を含む部位に直接触れると軟化や剥離を生じることがありますので、そのような場所への塗装は避けください。

## 「シリビアUVカットシリコンクリヤー」の安全衛生上の注意事項

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- カーボン酸素が発生した場合は炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工工具中ともに換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて幾次か用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は、直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 塗料の付着した手やウエスなどは自然乾燥や火引の危険性があるため、廃棄するまで水についておいてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落すに充分注意してください（偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります）。
- 取り扱い後は手洗いおよび手を充分に洗ってください。
- 自入った場合は水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は水で吐き出してください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気管が塞がなくなつた場合は空気の清浄な場所で安静にして、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをして、直射日光の当たらない場所に保管してください。（水系塗料は凍結を避けください）。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 虫中を使いつけてから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 化学物質過敏症の人は塗料に含有している化学物質（VOC等）に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
- 本製品は環境を配慮した材料を用いていますが、ご採用いただいたすべての人の健康状態を保護するものではありません。
- 詳細な内容が必要な場合は警告ラベル、または安全データシート(SDS)をご参照ください。

※製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

# 日本特殊塗料株式会社

## お問い合わせ先

東京 営業所	〒114-8584 東京都北区王子3-23-2	Tel(03)3913-6203	Fax(03)3913-6323
神奈川 営業所	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	Tel(0463)23-2135	Fax(0463)23-3739
中部 営業所	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12	Tel(0566)81-8111	Fax(0566)81-8124
大阪 営業所	〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12	Tel(06)6386-8492	Fax(06)6338-3560
中四国 営業所	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	Tel(082)423-8231	Fax(082)423-8256
九州 営業所	〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726	Tel(0942)89-5766	Fax(0942)89-5766

## 代理店